

[illegible]

内装の工事	①ビニル板木 材質 ・ 経理 ・ 軟質 ○既存同仕様 色相 ※1.5mm以上 高さ(mm) ※80 ・ 75 ・ 100 ○既存同仕様 (6.9.2)
	18ゴム床タイル 色相 () (6.9.2) 厚さ(mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0 寸法(mm)
	19カーペット敷き ・織じゅうたん (6.9.2)(表6.9.1) ・種別 n/f形状 常電性 繰り方 糸類等 備考 ○わい f/f ※人体帯電圧 ・ タタキw-2f(わい f/f) ・ 無地 ○wフ f/f 3kV以下 ・ タタキw-2f(わい f/f) ・ 柄物 ○C種 ・ わい、wフ 併用 ・ タタキw-2f(わい f/f) (標準品) 下敷き材 ※反毛f/f布(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ タタキw-2f (6.9.2~3) n/f形状 n/f長さ(mm) 工法 常電性 備考 ○わい f/f ※5~7 ・ 完全面接着工法 ※人体帯電圧 ○wフ f/f ※4~6 ・ グリッパ工法 3kV以下 ○wフ M-F n/f ※4 ・ ○わい、wフ 併用 ・ 下敷き材 ※反毛f/f布(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ C種 wフ f/f(わい f/f) (標準品) ※人体帯電圧 3kV以下 (6.9.2)
	・ タタキw-2f (6.9.2) n/f形状 種別 施工箇所 寸法(mm) 総厚さ(mm) 備考 ○wフ f/f ※第一種 ※500×500 ※6.5 ○わい f/f ・ 第二種 ※500×500 ※6.5 ・ 第一種 ※500×500 ※6.5 ・ 第二種 ※500×500 ※6.5 ○わい、wフ 併用 ・ 第三種 ※500×500 ※6.5 常電性 ※人体帯電圧 3kV以下 タタキw-2fの敷き方 平場 ※市松敷き ・ 模様流し 階段部分 ・ 市松敷き ※模様流し 見切り、押入金物の材質、形状等 ※図示 タタキw-2fのグリッパ工法の適用 ※有 ・ 無 (6.9.3)
	20合成樹脂床 種別 施工箇所 工法 仕上げの種類 (6.10.2~3) ・薄膜型床材材 ・弾性の軟弱系床材 ・薄型型床材材 1.5φ樹脂系床材 ・薄膜型床材材 ・7φφ樹脂塗床 (JIS K 5970) ・薄膜型床材材 ・7φφ樹脂塗床 (JIS K 5970) 工程 塗布量 (kg/m ²) 表面仕上げ ・平滑 ・ 防滑 消剤 水性性 ・ 溶剤系 ・ 無溶剤系 仕上色 ・標準色 塗料のw/f7φ φ 散敷量 ※規格外対象 ・ 第三種
	21フローリング張り ・無層w-2f (6.11.2~7) 種別 樹種 厚さ(mm) 大きさ(mm) 間伐材等の適用 工法 仕上塗装 ・7φ-f/g w-2f ※なら ・ 15 幅 75 長さ500以上 ・ 釘留工法 (根太張り工法) ・ 塗膜品 ・釘留工法 (歯張り工法) ・ 無塗膜品 ・擦着工法 ・7φ-f/g プ ロウ ※なら ・ 15 ※303×303 ・ 湿式工法 ・ 塗膜品 ・擦着工法 ・ 無塗膜品 ・w フ (わい フ) ・ 擦着工法 ・ 擦着工法 ・ 無塗膜品 天然化粧板複合w-2f (6.11.2~7) 種類 樹種 種別 防湿処理 間伐材等の適用 工法 仕上塗装 ・複合1種w-2f ※なら ・ A種 ・ 行う ・ 釘留工法 (根太張り工法) ・ 塗膜品 ・複合2種w-2f ・ B種 ・ 擦着工法 (歯張り工法) ・ 無塗膜品 ・複合3種w-2f ・ C種 w-2f及び擦着剤のw/f7φ φ 散敷量 ※規格外対象 ・ 第三種 (6.11.2) 現場塗装 ・ 行う 施工箇所() (6.11.7) ※w/f樹脂加工塗り ・ w/f7φ φの上、w/f塗り ・ 生地のままw/f塗り
	22畳敷き 種別 (6.12.2)(表6.12.1) A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 (兼KT- Ⅰ ・ Ⅱ ・ Ⅲ ・ K ・ N)

②せつこうボード
その他ボード
及び合板張り

種類

JIS
記号

略号

厚さ(mm)、規格等

○せつこうボード

○化粧せつこうボード
(15mm・フタ機構)

・化粧せつこうボード
(不燃)

○不燃質化粧せつこうボード
(化粧面)

・不燃質化粧せつこうボード
(化粧面)

・シンク・せつこうボード

○化粧せつこうボード

・せつこうボード

○けいれん板の化粧板

・けいれん板の化粧板
(化粧面)

○ウレタン化粧吸音板

・ウレタン吸音ボード1号

・ウレタン吸音ボード1号2号

・吸音木毛化粧板(化粧面)

・中質木毛化粧板(化粧面)

・普通木毛化粧板(化粧面)

・普通木毛化粧板(化粧面)

・普通木毛化粧板(化粧面)

・天然木化粧合板(化粧面)

GB-R

GB-D

GB-D

GB-MC

GB-MC

GB-S

GB-F

GB-L

0.8FK
1.0FK

DR

RW-B

GB-R

HWH

MWH

NWH

HF

NF

DR

GB-R

MBF

HB

IB

IB

GB-R

GB-D(T)

GB-D(M)

GB-MC

GB-MC(T)

GB-S

GB-F

GB-L

FK
化粧FK

DR

RW-B

GB-R

HWH

MWH

NWH

HF

NF

DR

GB-R

MBF

HB

IB

IB

・9.5(準不燃)
※12.5(不燃)・15(不燃)

※12.5(不燃)・15(不燃)

※12.5(不燃)
・15(不燃)

(下使用)
※9.5(不燃)・

(15mm・フタ機構)
※12.5(不燃)・

※9.5(不燃)・

・12.5(不燃)・15(不燃)○21(不燃)

※9.5(不燃)・

タイ2(準不燃)
○6(不燃)・8(不燃)

タイ2(準不燃)
(化粧面)・8(不燃)

※7mmタイ7(※9(不燃)・12(不燃))
・10mmタイ7(※12(不燃)・15(不燃))

・25・

・25(※7mmタイ2)
・固定方法・化粧面・止め(縦横300程度)

・15・20・25・

・15・20・25・

・15・20・25・

・12・15・18・21・

・30・

縦割目(・)
接着程度(・1類・2類)
厚さ(mm)
・防火処理・難燃処理・防虫処理

化粧加工の方法
(・オパール・アリット・塗装)
(・防火処理・難燃処理・防虫処理)
表面性能(・)タイ7
接着程度(・1類・2類)
厚さ(mm)
・防火処理・難燃処理・防虫処理

厚さ(mm)(・)
・防火処理・難燃処理・防虫処理
JIS K 6803による(※12・)

・3・7・9・12・

・未研磨板(・3層・7層・9層・12層)
・内部用・外装用

・2.5・3.5・5・7
・8(化粧面)・10(化粧面)

・未研磨板・研磨板
・10・12・15・18
・木質ボード・アラファックボード・塗装
・10(難燃)・12(難燃)

		・断熱資材等 仕下りとした仕込工事に使用する確付け用R値と、セメント、断熱材、湿和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 (品質・性能・試験方法)建築材料等品質性能表による
		・既製鋼合目地材 (品質・性能・試験方法)建築材料等品質性能表による
		・接着剤による陶磁器張り(張り 材の形状・寸法等
		・防水用シート 主な用途による区分 施工箇所
		・吸水性・透水性・透湿性・透気性・透熱性・透電性・透磁性等
		・耐火性・耐火時間・耐火温度・耐火強度・耐火性能・耐火試験方法・耐火試験結果
		・防火性能・防火試験方法・防火試験結果
		・防湿性能・防湿試験方法・防湿試験結果
		・防虫性能・防虫試験方法・防虫試験結果
		・防臭性能・防臭試験方法・防臭試験結果
27セルフレベリング材入り	・せっこう系 厚さ ()mm ・セメント系 厚さ ()mm (6.17.2)(表6.17.1)	標準的な造りでの役物とは一体成形とする 試験後、行う・行わない 見本焼き、行う・行わない 内装壁の接着材張り使用する有無接着剤のR値7.3.17.2放散量 ※規制対象外
①材料	②下地調整	①材料 屋内で使用する塗料のR値7.3.17.2放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする(箇所):
		②下地調整 R値の場合の既存塗膜の除去範囲 ※塗差上面積の30% ・図示 ・
		下地調整 (7.2.2~7.2)(表7.2.1~7.2)
		下地の種類
		下地の種類
		下地の種類
		下地の種類
		下地の種類
		下地の種類
		下地の種類
3 剥止め塗料張り	3 剥止め塗料張り	剥止め塗料張りの種類 (7.3.2~3.2)(表7.3.1~4)
		鉄鋼面
		鉄鋼面
		鉄鋼面
		鉄鋼面
		鉄鋼面
		鉄鋼面
		鉄鋼面
		鉄鋼面
		鉄鋼面
4 塗装	4 塗装	塗装の種類 (7.4.2~7.15.2)(表7.4.1~7.15.1)
		塗装の種類
		塗装の種類
		塗装の種類
		塗装の種類
		塗装の種類
		塗装の種類
		塗装の種類
		塗装の種類
		塗装の種類
東京新田川上大観2-25-2 株式会社 坂田建設設計事務所 一般建築士登録 第210615号 長岡 雅人	東京新田川上大観2-25-2 株式会社 坂田建設設計事務所 一般建築士登録 第233442号 新田 恒彦	東京新田川上大観2-25-2 株式会社 坂田建設設計事務所 一般建築士登録 第307492号 嶋 井 寛

		・合成樹脂1780バィト塗り (EP) ・合成樹脂1780バィト塗り 模様塗料塗り (EP-T) ・ウレタン樹脂2ス塗り (UC) ・ウレタンバィ塗り (UE) ・木材付バィ塗り (OS) ・木皮被覆塗料塗り (WP) つや有合成樹脂1780バィト塗り (つや付、53バィ面、53バィ面、せっこうバィト面、せっこうバィト面、その他バィト面) の塗装の仕様のしめ止め ※改修標準仕様書表7.9.10の工程の下書きをしきみ止めナゲとする 合成樹脂1780バィト塗りの塗装工事の場合のしめ止め ※改修標準仕様書表7.10.10の工程の下書きをしきみ止めナゲとする	せっこうバィト面 ※8種 - ・A種 ※8種 漆塗面 ※8種 - ・A種 ※8種 ウレタン面 ※8種 - ・A種 ※8種 木貼面 ※8種 - ・A種 ※8種 アクリル面 ※8種 - ・A種 ※8種 せっこうバィト面 ※8種 - ・A種 ※8種 屋内ウレタン面、屋外ウレタン面、せっこうバィト面、木部等 - ・C種 A種 ※8種 木部 - ・A種 ※8種 1変形 ・2変形 - ・A種 ※8種 A種 ※8種 木部 - ・A種 ※8種 A種 ※8種 A種 ※8種																																																																																																																																							
9	環境配慮型改修工事	1 アスベスト含有建材の処理工事 施工概要 分析による7バィト含有建材の調査 ・行う ・行わない (9.1.1) 分析方法 ※JIS A 1481「建材製品中の7バィト含有率測定方法」による。 ・分析手法結果については監督員に報告すること。 <table><tr><th>材料名</th><th>定性分析</th><th>定量分析</th></tr><tr><td>()</td><td>()</td><td>()</td></tr><tr><td>()</td><td>()</td><td>()</td></tr><tr><td>()</td><td>()</td><td>()</td></tr><tr><td>()</td><td>()</td><td>()</td></tr></table> ※採取箇所については、図示による。 7バィト粉じん濃度測定 ・行う ・行わない 測定室 () 【屋内改修用】 <table><tr><th>適用</th><th>測定時期</th><th>測定名称</th><th>測定場所</th><th>測定点(各施工箇所ごと)</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td>処理事業前</td><td>測定1</td><td>処理作業室内</td><td>各2点又は3点</td><td>(注)1 大気</td></tr><tr><td>・</td><td></td><td>測定2</td><td>除去対象室外部の付着口</td><td>—</td><td>(注)1 大気</td></tr><tr><td>・</td><td>処理事業中</td><td>測定3</td><td>処理作業室内</td><td>各2点又は3点</td><td>—</td></tr><tr><td>・</td><td></td><td>測定4</td><td>直圧・物置設置後の排気出口</td><td>各2点又は3点</td><td>—</td></tr><tr><td>・</td><td></td><td>測定5</td><td>処理作業室内の排出出入口</td><td>出た側の各2点</td><td>—</td></tr><tr><td>・</td><td></td><td>測定6</td><td>処理作業室内</td><td>4方向各1点(敷地境界)</td><td>—</td></tr><tr><td>・</td><td>処理事業後(一ヶ月以内)</td><td>測定7</td><td>処理作業室内</td><td>計2点</td><td>—</td></tr><tr><td>・</td><td>処理事業後(一年以上経過)</td><td>測定8</td><td>処理作業室内</td><td>各2点又は3点</td><td>(注)1 大気</td></tr><tr><td>・</td><td>1週間以降</td><td>測定9</td><td>除去対象室外部の付着口</td><td>—</td><td>大気</td></tr></table> 注1 各施工箇所ごとの室温が50℃以下までは2点、300m以下までは3点とする。 300mを超えるものは、監督員と協議する。 【屋外改修用】(解体工参照) <table><tr><th>適用</th><th>測定時期</th><th>測定名称</th><th>測定場所</th><th>測定点(各施工箇所ごと)</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td>作業前</td><td>測定1</td><td>処理作業外</td><td>4方向各1点(敷地境界)</td><td>—</td></tr><tr><td>・</td><td>作業中</td><td>測定2</td><td>処理作業外</td><td>4方向各1点(敷地境界)</td><td>—</td></tr><tr><td>・</td><td>処理事業後</td><td>測定3</td><td>処理作業外</td><td>4方向各1点(敷地境界)</td><td>—</td></tr></table> 7バィト粉じん濃度測定方法 <table><tr><th></th><th>測定3</th><th>測定1, 2, 4, 6, 7, 8</th><th>測定5</th></tr><tr><td>計数機器</td><td>位相差取機</td><td></td><td></td></tr><tr><td>ノズル径φの直径</td><td>25mm</td><td></td><td>47mm</td></tr><tr><td>試料の吸引速度</td><td>11L/min</td><td>572L/min</td><td>107L/min</td></tr><tr><td>試料の吸引時間</td><td>5min</td><td>120min</td><td>240min</td></tr><tr><td>試料の透明化</td><td>7バィトバィツバ又はバィツバ材法</td><td></td><td></td></tr><tr><td>計数条件</td><td>短7バィト線幅数200本又は視野数5視野</td><td></td><td></td></tr><tr><td>検出バィト</td><td>検出バィト長、長さ5μm以上、長さと面積比3 : 1以上</td><td></td><td></td></tr><tr><td>定常発生</td><td>50 f / %</td><td>0.5 f / %</td><td>0.3 f / %</td></tr></table> 7バィト含有建材の処理 除去対象範囲 ※図示 (9.1.3) 除去方法 ※改修標準仕様書第9.1.3(b)(1)による。 除去した7バィト含有吹付け材等を最取防止 ※密封処理 ※密閉化 ※密閉化等(無) ※処理範囲(※図示(※ m²) 処分方法 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(清溜、無害化处理) 7バィト含有保温材等の除去 (9.1.4) 除去対象範囲 ※図示 作業時の処理 処分方法 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(清溜、無害化处理) 7バィト含有成形板の除去 (9.1.5) 除去対象範囲 ※図示 処分方法 せっこうバィト ※埋立処分(管理型最終処分場) せっこうバィト以外 ・埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(清溜、無害化处理)	材料名	定性分析	定量分析	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	適用	測定時期	測定名称	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備考	・	処理事業前	測定1	処理作業室内	各2点又は3点	(注)1 大気	・		測定2	除去対象室外部の付着口	—	(注)1 大気	・	処理事業中	測定3	処理作業室内	各2点又は3点	—	・		測定4	直圧・物置設置後の排気出口	各2点又は3点	—	・		測定5	処理作業室内の排出出入口	出た側の各2点	—	・		測定6	処理作業室内	4方向各1点(敷地境界)	—	・	処理事業後(一ヶ月以内)	測定7	処理作業室内	計2点	—	・	処理事業後(一年以上経過)	測定8	処理作業室内	各2点又は3点	(注)1 大気	・	1週間以降	測定9	除去対象室外部の付着口	—	大気	適用	測定時期	測定名称	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備考	・	作業前	測定1	処理作業外	4方向各1点(敷地境界)	—	・	作業中	測定2	処理作業外	4方向各1点(敷地境界)	—	・	処理事業後	測定3	処理作業外	4方向各1点(敷地境界)	—		測定3	測定1, 2, 4, 6, 7, 8	測定5	計数機器	位相差取機			ノズル径φの直径	25mm		47mm	試料の吸引速度	11L/min	572L/min	107L/min	試料の吸引時間	5min	120min	240min	試料の透明化	7バィトバィツバ又はバィツバ材法			計数条件	短7バィト線幅数200本又は視野数5視野			検出バィト	検出バィト長、長さ5μm以上、長さと面積比3 : 1以上			定常発生	50 f / %	0.5 f / %	0.3 f / %	
材料名	定性分析	定量分析																																																																																																																																								
()	()	()																																																																																																																																								
()	()	()																																																																																																																																								
()	()	()																																																																																																																																								
()	()	()																																																																																																																																								
適用	測定時期	測定名称	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備考																																																																																																																																					
・	処理事業前	測定1	処理作業室内	各2点又は3点	(注)1 大気																																																																																																																																					
・		測定2	除去対象室外部の付着口	—	(注)1 大気																																																																																																																																					
・	処理事業中	測定3	処理作業室内	各2点又は3点	—																																																																																																																																					
・		測定4	直圧・物置設置後の排気出口	各2点又は3点	—																																																																																																																																					
・		測定5	処理作業室内の排出出入口	出た側の各2点	—																																																																																																																																					
・		測定6	処理作業室内	4方向各1点(敷地境界)	—																																																																																																																																					
・	処理事業後(一ヶ月以内)	測定7	処理作業室内	計2点	—																																																																																																																																					
・	処理事業後(一年以上経過)	測定8	処理作業室内	各2点又は3点	(注)1 大気																																																																																																																																					
・	1週間以降	測定9	除去対象室外部の付着口	—	大気																																																																																																																																					
適用	測定時期	測定名称	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備考																																																																																																																																					
・	作業前	測定1	処理作業外	4方向各1点(敷地境界)	—																																																																																																																																					
・	作業中	測定2	処理作業外	4方向各1点(敷地境界)	—																																																																																																																																					
・	処理事業後	測定3	処理作業外	4方向各1点(敷地境界)	—																																																																																																																																					
	測定3	測定1, 2, 4, 6, 7, 8	測定5																																																																																																																																							
計数機器	位相差取機																																																																																																																																									
ノズル径φの直径	25mm		47mm																																																																																																																																							
試料の吸引速度	11L/min	572L/min	107L/min																																																																																																																																							
試料の吸引時間	5min	120min	240min																																																																																																																																							
試料の透明化	7バィトバィツバ又はバィツバ材法																																																																																																																																									
計数条件	短7バィト線幅数200本又は視野数5視野																																																																																																																																									
検出バィト	検出バィト長、長さ5μm以上、長さと面積比3 : 1以上																																																																																																																																									
定常発生	50 f / %	0.5 f / %	0.3 f / %																																																																																																																																							
		平成26年度静岡県立総合病院PETセンター仮設設置の廊下新築工事																																																																																																																																								
		建築 改修特記仕様書 (4)	A1 :- A3 :-																																																																																																																																							
			A - 14																																																																																																																																							

[illegible]

8-1 建築 関係の 標準 （参考）	1 鉄筋	鉄筋の種類 種類 記号 呼び径 (mm) 備 考 ・SD355 ※D16以下 JIS G 3112 ・SD345 ※D19以上 JIS G 3112 ・SR235 ※わいり鉄筋全ての径 JIS G 3112 ・SS400 ※スラット用 JIS B 1198	8-2 建築 改修 関係の 標準 （参考）	1 レディーミクスト コンクリート製造工場	8-3 建築 改修 関係の 標準 （参考）	1 鉄骨の製作工場
	2 溶接金鋼	形状等 種類 種類の記号 断目の形状、寸法、鉄線の径 (mm) 使用部位 ・溶接金鋼 ・鉄筋棒子		2 コンクリートの 気乾単位容積 量による種類 及び強度		2 施工管理技術者
3 継手及び定着	3 継手及び定着	継手方法等 部位 継手方法 呼び径 (mm) 柱、梁の上部 ・ナブ継手 ・機械式継手 耐力壁の鉄筋 ・重ね継手 ・ その他の鉄筋() ・重ね継手 ・		3 コンクリート 種類		3 鋼材
	4 鉄筋のかぶり 厚さ及び間隔 (溶接金鋼含む)	主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ ・40d(経量コンクリートの場合は50d)と標準仕様書表5.3.2の大きい方の値 ・図示による() 柱に取り付ける梁の引張り鉄筋定着長さ ・標準仕様書表5.3.4 ・図示による() その他鉄筋の定着方法及び定着の長さ ・図示による() その他鉄筋の継ぎ手位置 ・図示による()		4 気乾単位容積 質量		4 高力ボルト
5 機械式継手 及び溶接継手	5 機械式継手 及び溶接継手	使用箇所 ※図示による() 性能(III2建替1463号に適合するもの) ・A継 機械式継手の種類() 鉄筋相互のあき ・図示による() ・標準仕様書8.3.5(d)による 品質の確認方法 ・図示による() 不良となった継手の修正方法等 ・図示による()		5 コンクリートの 仕上り		5 溶融亜鉛めっき 高力ボルト
	6 圧接完了後の 試験	外観試験 ※行う(全数) 抜取試験 ※超音波探傷試験 試験の箇所数等 ・標準仕様書[5.4.9]、[5.4.10]による ・引張試験 試験片の採取数は、10yに対して(※3本 ・)とする 試験yは:1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所 を超えるときは200箇所ごととする。 試験片を採取した箇所の処置、圧接		6 セメント 種類		6 アンカーボルト
7 鉄骨の製作工場	7 鉄骨の製作工場	鉄骨の種類 種類 記号 呼び径 (mm) 備 考 ・SD355 ※D16以下 JIS G 3112 ・SD345 ※D19以上 JIS G 3112 ・SR235 ※わいり鉄筋全ての径 JIS G 3112 ・SS400 ※スラット用 JIS B 1198		7 骨材		7 溶接材料
	8 鉄骨の製作工場	鉄骨の種類 種類 記号 呼び径 (mm) 備 考 ・SD355 ※D16以下 JIS G 3112 ・SD345 ※D19以上 JIS G 3112 ・SR235 ※わいり鉄筋全ての径 JIS G 3112 ・SS400 ※スラット用 JIS B 1198		8 混和材料		8 デッキプレート
9 鉄骨の製作工場	9 鉄骨の製作工場	鉄骨の種類 種類 記号 呼び径 (mm) 備 考 ・SD355 ※D16以下 JIS G 3112 ・SD345 ※D19以上 JIS G 3112 ・SR235 ※わいり鉄筋全ての径 JIS G 3112 ・SS400 ※スラット用 JIS B 1198		9 ひび割れ誘発 間隔、打替目地		9 スタッド
	10 鉄骨の製作工場	鉄骨の種類 種類 記号 呼び径 (mm) 備 考 ・SD355 ※D16以下 JIS G 3112 ・SD345 ※D19以上 JIS G 3112 ・SR235 ※わいり鉄筋全ての径 JIS G 3112 ・SS400 ※スラット用 JIS B 1198		10 打増し厚さ (打放し仕上げ部)		10 柱底均しモルタル
11 鉄骨の製作工場	11 鉄骨の製作工場	鉄骨の種類 種類 記号 呼び径 (mm) 備 考 ・SD355 ※D16以下 JIS G 3112 ・SD345 ※D19以上 JIS G 3112 ・SR235 ※わいり鉄筋全ての径 JIS G 3112 ・SS400 ※スラット用 JIS B 1198		11 型枠 せき板の材料及び厚さ ・合板(※12mm ・) ・ 断熱材の兼用 ・行わない ・行う MOK工法用シート ・用いる ・用いない 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 図示による()		11 工作図
	12 鉄骨の製作工場	鉄骨の種類 種類 記号 呼び径 (mm) 備 考 ・SD355 ※D16以下 JIS G 3112 ・SD345 ※D19以上 JIS G 3112 ・SR235 ※わいり鉄筋全ての径 JIS G 3112 ・SS400 ※スラット用 JIS B 1198		12 型枠の加工及び 部位		12 鉄骨の仮組
13 鉄骨の製作工場	13 鉄骨の製作工場	鉄骨の種類 種類 記号 呼び径 (mm) 備 考 ・SD355 ※D16以下 JIS G 3112 ・SD345 ※D19以上 JIS G 3112 ・SR235 ※わいり鉄筋全ての径 JIS G 3112 ・SS400 ※スラット用 JIS B 1198		13 軽量コンクリート 種類 ・1種 使用部位() ・2種 使用部位() 適用箇所 ・図示による()		13 溶接作業における 技能資格者
	14 鉄骨の製作工場	鉄骨の種類 種類 記号 呼び径 (mm) 備 考 ・SD355 ※D16以下 JIS G 3112 ・SD345 ※D19以上 JIS G 3112 ・SR235 ※わいり鉄筋全ての径 JIS G 3112 ・SS400 ※スラット用 JIS B 1198		14 重中コンクリート 適用期間 図示による() ・ ・積算温度を基に定める場合 ・図示による()		14 溶接接合
15 鉄骨の製作工場	15 鉄骨の製作工場	鉄骨の種類 種類 記号 呼び径 (mm) 備 考 ・SD355 ※D16以下 JIS G 3112 ・SD345 ※D19以上 JIS G 3112 ・SR235 ※わいり鉄筋全ての径 JIS G 3112 ・SS400 ※スラット用 JIS B 1198		15 層中コンクリート 構造体強度補正係 (※) ※6N/mm ²		15 耐火被覆
	16 マスコンクリート	マスの種類 ・中炭素セメント ・低炭素セメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュB種 ・普通セメントにわかにJIS A 6206に適合するコンクリート用高炉セメント粉末 の4000を混合したもの 適用箇所 ※図示による() ・混和材 混和材の種類 ※JIS A 6206に適合するコンクリート用高炉セメント粉末の4000G ・混和剤 混和剤の種類 ※JIS A 6204に適合するAE減量剤又は高性能減量材 スラブ ※15cm		16 マスコンクリート セメントの種類 ・中炭素セメント ・低炭素セメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュB種 ・普通セメントにわかにJIS A 6206に適合するコンクリート用高炉セメント粉末 の4000を混合したもの 適用箇所 ※図示による() ・混和材 混和材の種類 ※JIS A 6206に適合するコンクリート用高炉セメント粉末の4000G ・混和剤 混和剤の種類 ※JIS A 6204に適合するAE減量剤又は高性能減量材 スラブ ※15cm		16 アンカーボルト の保持及び埋込み 方法
17 鉄骨の製作工場	17 鉄骨の製作工場	鉄骨の種類 種類 記号 呼び径 (mm) 備 考 ・SD355 ※D16以下 JIS G 3112 ・SD345 ※D19以上 JIS G 3112 ・SR235 ※わいり鉄筋全ての径 JIS G 3112 ・SS400 ※スラット用 JIS B 1198		17 無筋コンクリート 設計基準強度 (N/mm ²) スラブ 適用箇所 ※18 ※15又は18 ※標準仕様書6.14.1(e) ・図示 ・ ・		17 軽量形鋼構造
	18 流動化 コンクリート	流動化 コンクリート		18 流動化 コンクリート 適用箇所 ・図示による() ・		
19 鉄骨の製作工場	19 鉄骨の製作工場	鉄骨の種類 種類 記号 呼び径 (mm) 備 考 ・SD355 ※D16以下 JIS G 3112 ・SD345 ※D19以上 JIS G 3112 ・SR235 ※わいり鉄筋全ての径 JIS G 3112 ・SS400 ※スラット用 JIS B 1198		19 構造用モルタル 圧縮強度 (N/mm ²) 圧縮() 圧縮()		
	20 鉄骨の製作工場	鉄骨の種類 種類 記号 呼び径 (mm) 備 考 ・SD355 ※D16以下 JIS G 3112 ・SD345 ※D19以上 JIS G 3112 ・SR235 ※わいり鉄筋全ての径 JIS G 3112 ・SS400 ※スラット用 JIS B 1198				